

# これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会について

## ◎趣旨

改正精神保健福祉法の附則において、同法の施行後3年(平成29年4月)を目途として、医療保護入院の手続の在り方等について検討を加え、所要の措置を講ずるものとされている。当該規定を踏まえた検討を行うとともに、平成26年7月に取りまとめた「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策の今後の方向性」を踏まえた精神科医療の在り方の更なる検討を行う場として、「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」を本年1月から開催。

## ◎主な検討事項

- ・ 医療保護入院における移送及び入院の手続等の在り方
- ・ 医療保護入院者の退院を促進するための措置の在り方
- ・ 入院中の処遇、退院等に関する精神障害者の意思決定及び意思の表明の支援の在り方
- ・ 精神病床のさらなる機能分化
- ・ 精神障害者を地域で支える医療の在り方
- ・ 精神疾患に係る医療体制の在り方

## ◎検討会の下で、以下の2つの分科会を開催

- ① 医療保護入院等のあり方分科会
- ② 新たな地域精神保健医療体制のあり方分科会

# これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会構成員

分科会

伊澤雄一	精神保健福祉事業団体連絡会代表	②
伊藤弘人	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会精神保健研究部長	②
岩上洋一	特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会理事・一般社団法人全国地域で暮らそうネットワーク代表理事	①
江藤 修	杵築市福祉推進課長	①
太田匡彦	東京大学大学院法学政治学研究科教授	①
荻原喜茂	一般社団法人日本作業療法士協会副会長	②
籠本孝雄	公益社団法人全国自治体病院協議会常務理事 兼 精神科部会部会長	②
柏木一恵	公益社団法人日本精神保健福祉士協会会長	①
河崎建人	公益社団法人日本精神科病院協会副会長	②
神庭重信	九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野教授	②
吉川隆博	一般社団法人日本精神科看護協会業務執行理事	①
久保野恵美子	東北大学大学院法学研究科教授	①
佐竹直子	一般社団法人日本総合病院精神医学会理事	②
澤田優美子	日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程	①
白川教人	全国精神保健福祉センター長会会長	①
田川精二	公益社団法人日本精神神経科診療所協会理事	②
近森正幸	社会医療法人近森会近森病院院長	②
千葉 潜	医療法人青仁会青南病院理事長	①
中板育美	公益社団法人日本看護協会常任理事	②
長野敏宏	特定非営利活動法人ハートinハートなんぐん市場理事	②
中原由美	全国保健所長会(福岡県糸島保健福祉事務所長)	①
野沢和弘	毎日新聞論説委員	①
◎樋口輝彦	前国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター総長	②(分科会座長)
平田豊明	千葉県精神科医療センター病院長	①
広田和子	精神医療サバイバー	②
藤原俊之	佐賀県健康福祉部長	②
本條義和	公益社団法人全国精神保健福祉会連合会理事長(みんなねっと)	①
松田晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教授	②
松本純一	公益社団法人日本医師会常任理事	②
○山本輝之	成城大学法学部教授	①(分科会座長)

## これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会の開催状況

これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会	第1回 (1月7日)	検討会を立ち上げ、検討会の下に分科会を設置することについて説明
	第2回 (2月25日)	関係者ヒアリング (日本精神科病院協会、精神保健福祉事業団体連絡会、全国精神保健福祉会連合会、全国「精神病」者集団)
医療保護入院等のあり方分科会	第1回 (3月11日)	「医療保護入院における移送及び入院の手続等の在り方」及び「医療保護入院者の退院を促進するための措置の在り方」について議論
	第2回 (4月28日)	「入院中の処遇、退院等に関する精神障害者の意思決定及び意思の表明の支援の在り方」について議論
新たな地域精神保健医療体制のあり方分科会	第1回 (3月29日)	「精神病床のさらなる機能分化」、「精神障害者を地域で支える医療の在り方」及び「多様な精神疾患等に対応できる医療体制の在り方」について議論
	第2回 (4月22日)	関係者ヒアリング (竹島正氏(川崎市健康福祉局障害保健福祉部担当部長・精神保健福祉センター所長)、安西信雄氏(帝京平成大学大学院臨床心理学研究科長・教授))
	第3回 (5月27日)	関係者ヒアリング (公益社団法人日本精神神経科診療所協会、一般社団法人日本精神科看護協会、一般社団法人日本作業療法士協会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会)